

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)	令和 4 年度 第 2 回相模原市スポーツ推進審議会		
事務局 (担当課)	市民局 スポーツ推進課		
開催日時	令和 5 年 3 月 2 7 日 (月) 午後 3 時 0 0 分～午後 4 時 3 0 分		
開催場所	相模原市役所 2 階 第 1 ・ 第 2 特別会議室		
出席者	委員	1 0 人 (別紙のとおり)	
	その他		
	事務局	7 人 (スポーツ・文化担当部長 他 6 人)	
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0 人
公開不可・一部 不可の場合は、 その理由			
会議次第	1 あいさつ  2 議 題  令和 4 年度相模原市スポーツ団体事業費補助金の交付について  3 報告事項  令和 4 年度相模原市スポーツ事業の予算概要等について  4 その他		

## 審 議 経 過

主な内容は次のとおり（○は委員の発言、●は事務局の発言）

### 1 あいさつ

開会に先立ち、スポーツ・文化担当部長からあいさつを行った。

### 2 議題

#### (1) 令和5年度相模原市スポーツ団体事業費補助金の交付について

事務局の説明後、審議を行い、令和5年度相模原市スポーツ団体事業費補助金の交付は適当である旨、市へ答申することが承認された。主な意見は次のとおり。

- 県ボート協会に補助金を出しているのは何故か。
- 県のボート協会の拠点が相模湖にあり、旧相模湖町の頃から支援しているもの。市のボート協会がなく、本市だけでの大会開催が困難なことから、県と協力して実施している。
- 津久井地区の駅伝競走大会について、隔年ではなく、毎年開催してほしい。予算の都合があると思うが、子どもの成長速度を考えると、1年で大きく成長する選手も多くいる。(意見)
- 大会を続けることでスポーツへの理解が高まるのは確かだと思う。市の財政難等もあり、どうにか大会を維持しようとした結果が隔年開催だと理解しており、令和5年度はこの案でいかざるを得ないと思うが、令和6年度以降に向けてやり方を模索してほしい。(意見)
- 毎年開催できない理由が何かを精査する必要がある。主催団体に開催したい意向があるにも関わらず費用面に課題があり、市の予算で補うことができないのであれば、協賛企業を探すなど、他の方法を模索する必要がある。(意見)
- 市からの補助金は隔年、補助金のない年は協賛を募る等、やり方はいろいろある。(意見)
- どの競技でも、大会参加者を集めるのが大変。4つの大会を全て毎年やるだけの参加者を集める力があるのか。1つの地区で限定してやるより、たとえ場所が変わっても、複数のエリアの人が一堂に会してやるほうがおもしろい大会になるのではないか。(意見)
- 小学生の部があるのはやまなみクロスカントリー大会だけであったり、各大会で種目や参加資格が異なる。4つの大会を1つの大会にまとめるには調整が必要と考えている。

- スポーツをやる機会がないと、スポーツをやらない人が増える。参加する場を設けることでスポーツをする人の増加に繋がるため、「やりたいのにできない」のであれば、できる方法を模索していくべきだと思う。できない理由が補助金がないことなのであれば補助金は出すべきだと思う。(意見)
- コロナ禍となる前は毎年やって開催していた。コロナ禍の影響で隔年開催になったからそのまま隔年、ではなく元の形に戻す方向を考えてほしい。(意見)
- 各大会で実施種目や参加者の年代が異なることや、市内旧4町以外でも、相模原駅伝等の大会を開催している状況を踏まえ、検討をしていく必要があると考えている。

### 3 報告事項

#### (1) 令和5年度相模原市スポーツ事業の予算概要等について

事務局が説明後、次のとおり質疑応答を行った。

- 特定天井改修工事とは何か。
- 大規模地震の際に市施設の天井が落ちるなどの事例があったことから、現在の建築基準を満たしていないものについて、順次改修を行うもの。
- 3年に1度、市施設の料金改定があり、使用料が上がり続けている。使用料の高騰で運動の回数が減ってしまったという声も聞くため、値上げが必要か精査してほしい。(意見)
- 受益者負担の対応方針に基づいて、料金の見直しを行っている。一部子どもの利用については無料としている場合もあるため、御理解いただきたい。
- 年金受給者で週3水泳に行っていた人が、使用料の値上げの影響で週に1回にしか行けなくなってしまったという意見も聞く。高齢化社会であることも踏まえて、検討していただきたい。(意見)

### 4 その他

事務局より、組織改編のためスポーツ推進課が、スポーツ推進課とスポーツ施設課の2課に分かれることについて説明した。

以 上

## 相模原市スポーツ推進審議会出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備考	出欠席
1	安井 年文	学識経験者（青山学院大学教授）	会長	出席
2	鈴木 秀知	学識経験者（桜美林大学教授）		出席
3	齋藤 仁美	学識経験者（トップアスリート）		出席
4	高橋 宏彰	公募市民		出席
5	伊藤 明	公募市民		出席
6	西岡 直子	（一社）相模原市医師会		欠席
7	三塚 康雄	（公財）相模原市スポーツ協会		出席
8	東條 久美子	相模原市立小・中学校長会 代表者会		欠席
9	佐々木 新悟	相模原市立小中学校PTA連絡協議会		欠席
10	大山 孝	相模原市スポーツ推進委員連絡協議会	副会長	出席
11	長澤 敬子	相模原市公民館連絡協議会		欠席
12	吉原 君子	（特非）相模原市障害児者福祉団体連絡協議会		出席
13	三畑 義昭	総合型地域スポーツクラブ （（特非）ミハタ）		出席
14	山本 順己	ホームタウンチーム （相模原ライズアスリートクラブ）		出席